

日本協同組合学会 Newsletter

Vol.22 No.2(通巻53号)

2011年4月5日

～第30回春季研究大会案内号～

発行 日本協同組合学会 責任編集 会長 村岡範男
〒100-6837 東京都千代田区大手町1-3-1 JA全中教育部内
Tel : 03-6665-6260 Fax : 03-3217-5073
Eメール : coopstudies-jimukyoku@zenchu-ja.or.jp
ホームページ : <http://coopstudies.jp>

被災お見舞いのご挨拶

日本協同組合学会会長 村岡 範男

3月11日に発生した巨大地震と大津波、さらに原子力発電所の事故によって大きな被害を受けられました会員の皆様、多くの協同組合関係の方々、被害が及んだ広範囲の地域の皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、この悲しみと困難を乗り越えられ復興に向けて力強く再出発されることを念願しております。今回の地震と津波の膨大なエネルギー、被害の甚大さ、また放射能汚染への不安と恐怖にただただ茫然としておりますが、学会としましては、事態をいつまでも見守るのではなく、学会として何ができるのか、何をすべきなのかを的確かつ迅速に判断し、復興に少しでも貢献できるよう考えるとともに、行動に移したいと念じております。会員の皆様の結集および協同組合関係の方々のご協力を切にお願いする次第です。

春季研究大会は、様々な困難が予想されるところですが、予定しておりましたテーマを軸に何とか開催したいと望んでおりますし、秋の大会におきましては、この時期にふさわしいテーマを選択するなどの工夫をこらしたいと考えております。そのために、皆様の積極的なご意見、アイデアをお寄せいただければ幸いです。

また、学会としましては今回の被害をできる限り正確に把握したいと願っております。つきましては、会員の方々に被害が及んでいないことを祈りつつも、会員の方々が被害を受けている場合にはその状況をお知らせいただければと存じます。さしあたり会長までご一報いただければ幸いです。

muraoka@rakuno.ac.jp

冬木勝仁理事（東北大学大学院農学研究科）からのご提案

被災地の理事として一言申し上げます。今回の震災では当地の協同組合も甚大な被害を受けました。各協同組合の事業はもとより、組合員の経営と生活の基盤が根こそぎ奪われました。何よりも悲しいことに、多くの組合員の生命が奪われました。また、福島原発事故は当地の農協、漁業に多大な影響を及ぼしております。私の所属する東北大学大学院農学研究科では、既に津波の被害を受けた農地の復旧可能性について現地調査を行い始めておりますが、こういう時に社会科学者は直接かかわれず歯がゆい思いをしております。しかし、いずれ本格的に復旧を目指す際には我々社会科学者の力が必要になってくると思います。

協同組合学会としても、被災地の協同組合ならびに組合員の経営と生活の復興にとって何が重要なのかという実態をふまえた政策支援のあり方および協同組合セクターの総力をあげた支援のあり方等について提言できるのではないのでしょうか。簡単ではございますが、会長の問題提起を受けた提案とさせていただきます。

日本協同組合学会 第30回春季研究大会のご案内

開催日：5月28日(土)9時30分～17時

会場：主婦会館プラザエフ カトリア(7階) 千代田区六番町15番地

・JR四ツ谷駅 麹町口前(徒歩1分) ・東京メトロ南北線/丸ノ内線四ツ谷駅(徒歩3分)

テーマ：協同組合の社会的価値を問う～国際協同組合年と協同組合憲章

<申込案内>

参加費：1,500円 報告要旨集のみ希望者：1,800円(送料込)

懇親会参加費：4,000円

参加・不参加等同封の葉書に必要事項を記入の上、5月13日(金)必着で送付ください。

また、参加者・報告要旨集希望者は下記学会口座に5月20日(金)までに送金願います。

振替口座 ゆうちょ銀行口座番号

00140-5-557520 加入者名 日本協同組合学会

連絡先

実行委員長 山口浩平(生協総合研究所) 03-5216-6025 yamac7702@auone.jp

※7702は数字、それ以外はアルファベット



座長の問題提起

2008年9月15日のリーマンブラザーズ証券会社の破綻以降、「100年に1度の危機」(グリーンズパン前米連邦準備制度理事会議長)が、世界的な規模で進行している。この経済危機は「新自由主義の破綻」を示すものと言われながらも、経済の先行きは不明のままである。このような状況のもとで、2009年12月の国連総会は、2012年を国際協同組合年とすると決議し、今後の経済開発における協同組合の役割に期待を示した。

日本では2011年3月11日、「1000年に1度」とも言われる大震災が東日本を襲った。その結果、原発被害の問題を含め、日本は「戦後最大の国家的危機」(外務省の見解)に陥っている。

このような経済と社会の大変動期を迎えた現在、協同組合は何をなすべきなのか。何を期待されているのか。あらためて協同組合の社会的価値が問われる。

この大問題に取り組むのが、「協同組合の社会的価値を問う」をテーマとする5月の研究大会である。

国連決議に促されて2010年秋に設立された日本の2012協同組合年全国実行委員会は、協同組合運動をさらに発展させるために、協同組合憲章をつくり、協同組合の社会的価値を明らかし、社会に訴えるとともに、政府の協同組合政策を改善させるという運動を開始している。

富沢賢治(聖学院大学大学院)

日本協同組合学会としても、学会の立場から、協同組合の社会的価値を解明する必要がある。

第1報告「国際協同組合年の意義と課題」(栗本昭)は、国際協同組合年を巡る世界と日本の動向を紹介したうえで、日本の協同組合運動と協同組合学会が果たすべき課題を明らかにするであろう。

協同組合の社会的価値を明らかにするためには、活動の実態に即しての解明が必要となる。食糧、自然環境保全、エネルギー、福祉、暮らし、労働などの社会問題の領域で、協同組合はどのような活動をしているのであろうか。第2、3、4報告が、下記のテーマを掲げてこの問題に取り組む。

第2報告「食糧問題に果たす協同組合の社会的役割」(小山良太)

第3報告「自然環境保全とエネルギー問題に果たす協同組合の社会的役割」(河野直践)

第4報告「『新しい公共』の担い手としての協同組合(福祉、暮らし、労働)」(岡田俊介)

最終の第5報告「中小企業憲章の意義と課題」(三井逸友)は、協同組合憲章との関連で重要な意味を有する。この新しい論点については若干の解説が必要となろう。

民間の運動に促されて2010年6月18日に中小企業憲章が閣議決定された。この憲章は、中小企

業の経済的・社会的役割などについての考え方を基本的理念として示すとともに、政府が中小企業政策に取り組むさいの基本原則や行動指針となっている。協同組合憲章においても、協同組合の経済的・社会的役割などについての考え方を基本的理念として示すとともに、政府が協同組合政策に取り組むさいの基本原則や行動指針となるような憲章が目指されている。2012 国際協同組合年 全国実行委員会は、このような内容を有する憲章を政府が採択するように運動を進めている。

中小企業憲章と協同組合憲章とは、どのように関連するのであろうか。

3月の東北関東大震災以降ますます明らかになっているように、現在の日本社会が緊急に必要としているのは、コミュニティの再建であり地域経済の活性化である。この2つの課題に取り組むにあたって協同組合が果たしうる社会的役割は非常に大きい。コミュニティの再建は協同組合が得意とする領域であるが、地域経済の活性化にあつ

ては、中小企業との連携が重要な意味を有することになる。地域経済活性化の真の担い手になりうるのは、いざとなれば地域を捨てることを辞さない大企業ではなく、地域に根ざす経済主体である協同組合と中小企業である。両者の連携の深化が今後の重要な課題となる。第5報告のコメント(長島剛・多摩信用金庫)では、その重要性についての具体的事例が示されることを期待したい。

「協同組合の社会的価値を問う」という大会テーマは、今後の日本社会のあり方と密接に関連する。現在は、「創造的破壊」(シュンペーター)あるいは「社会の再組織化」の時期である。大震災によって実践家と研究者に課されたのは、コミュニティと地域社会をどのように再建するかという問題であるとともに、日本の社会づくりをどの方向ですすめていくかという問題でもある。このような状況下で、協同組合の社会的価値を明らかにする課題に取り組む今回の研究大会の意義は大きい。

プログラム

会長挨拶	日本協同組合学会会長 村岡範男(酪農学園大学)	9:30~9:35
座長問題提起	富沢賢治(聖学院大学大学院)	9:35~9:50
<第1部> 報告		
第1報告	国際協同組合年の意義と課題 栗本明(生協総合研究所)	9:50~10:20
第2報告	食糧問題に果たす協同組合の社会的役割 小山良太(福島大学)	10:20~10:50
第3報告	自然環境保全とエネルギー問題に果たす協同組合の社会的役割 河野直践(茨城大学)	10:50~11:20
第4報告	「新しい公共」の担い手としての協同組合(福祉・暮らし・労働) 岡田俊介(協同総合研究所)	11:20~11:50
第5報告	中小企業憲章の意義と課題 三井逸友(横浜国立大学)	11:50~12:20
	昼食(1時間)	12:20~13:20
<第2部> コメント		
第1コメント	小野雅之(神戸大学)	13:20~13:35
第2コメント	松本典子(駒沢大学)	13:35~13:50
第3コメント	長島剛(多摩信用金庫)	13:50~14:05
<第3部> コメントへの回答		
第1回答		14:05~14:15
第2回答		14:15~14:25
第3回答		14:25~14:35
第4回答		14:35~14:45
第5回答		14:45~14:55
	休息(15分)	14:55~15:10
<第4部> 討議		
	質問用紙に基づく討議・自由討議	15:10~16:40
	座長まとめ	16:40~16:55
懇親会	レストランエフ(プラザエフ2階)	17:30~19:30

第31回大会のお知らせ

秋の大会は下記の日程・会場で開催する予定です。万障お繰り合わせの上、ご参加ください。内容等についてご提案のある方は理事までお知らせくださるようお願いいたします。

開催日：10月15日（土）・16日（日）

会 場：神戸大学

テーマ：春季大会の議論を踏まえ、協同組合憲章のまとめになる議論とする。（案）

2010年度学会賞の推薦をお願いします

今年度の学会賞推薦を下記のように募集しています。積極的なご推薦をお願いします。

推薦期間：2011年1月から2011年6月30日（木）までの6ヶ月間。

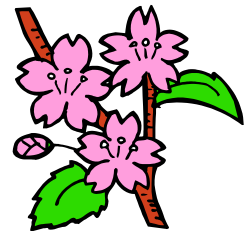
推薦対象：2011年5月末までの3年5ヶ月間に刊行された著書、論文またはそれに準ずるもの。

推薦方法：2名以上の本会普通会員の連名による推薦を得る。選考対象の研究業績の現物、著者または著者代表者の業績一覧及び履歴書各1部を添えて推薦状を提出する。推薦をする場合には、学会事務局（JA 全中教育部）に連絡のうえ、所定の推薦書様式を入手して下さい。

これまでの学会賞受賞者一覧を作成し、ホームページ等に掲載することを検討しています。歴代の授賞者についてご存知の方はお知らせください。

会員メーリングリストへの登録のおさそい

当学会では、会員どうしの情報交換、学会からのお知らせ等のためのメーリングリストを開設しております。現在、約100名の方が登録されていますが、さらに多くの皆様のご参加をお願いいたします。メーリングリストへ登録をご希望の方は下記のメールアドレスに参加希望の旨、お伝えください。coopstudies-jimukyoku@zenchu-ja.or.jp



会費納入のお願い

2010年度の会費納入をお願いいたします。

振込みの際は、必ず会員番号をご記入いただきますようお願い致します。とくに団体名で送金いただきますと、会員の特定が困難となり他の会員の皆様にご迷惑をおかけしてしまうことになりますので、よろしくお願い致します。

また、混乱を避けるため、研究大会の参加費とは別にお振り込みいただきますようお願いいたします。

郵便振替

加入者名：日本協同組合学会

口座番号：00140-5-557520

農林中央金庫

本店（958）日本協同組合学会

口座番号：N0.5026910